

特色ある読書推進活動の紹介

令和7年10月14日発行 福島県教育庁県北教育事務所



県北地区の「読書ボランティア」紹介！

今回紹介するのは、川俣町を中心に活動する読書ボランティア団体「おはなしポケット」さんです。毎月定期的に小学校を訪問し、朝の時間に各学級で読み聞かせを行っています。また年に1回、多目的ホールで低学年を対象に、パネルシアターや民話、紙芝居、群読を取り入れたお話を開催しています。

今年度は、9月24日（水）にお話を開催しました。

* 1 年 生 *



絵本「おちば」の読み聞かせです。



パネルシアター「牛方と山んば」です。



「かえるのぴょん」をみんなで群読です。

* 2 年 生 *



紙芝居「あかんぼばあさん」です。



群読「かぼちゃのつるが」で声を合わせます。



今回は7名でお話を開催していただきました。

「おはなしポケット」は、来年で30周年になります。会長の菅田文子さんは「子どもたちに本を好きになってほしい」という思いで活動をしてきました。読み聞かせには、語彙力が増える、自分の知らない世界を知る、一人でないことを実感する等の効果があり、読み手自身も心が豊かになると話してくれました。